

工期短縮提案の推進

課題

- ・ダム本体工事のような債務工事において、具体的な提案を求めるためには工期短縮に伴う予算の確保等が必要
- ・契約後に工期短縮しても、損料・賃料の減少等により設計変更となる場合があり、受注者側のメリットが小さい

具体的な解決策（案）

1．発注者側の工期短縮への対応

方法1：予算の弾力的な確保

早期供用によるダム事業のメリットを勘案し、工期短縮提案に応じた弾力的な予算の確保

2．受注者側の工期短縮によるメリットの確保

方法2 - 1：契約方式の検討

契約後の工期短縮によって減額変更が生じない契約

方法2 - 2：入札時における工期短縮の評価

入札時に、工期短縮及びそれに伴うコスト縮減についての提案を求め、「(総価) - (工期縮減によるコスト縮減額)」が最も低い金額となる者を選定